

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から (新しく受け入れた資料の紹介)

『物流と都市地域計画』

— ロジスティクスが創る新たな社会』

苦瀬博仁, 鈴木奏到監修, IBS「都市と物流」研究会編著／大成出版社発行／2020年4月／A5判／352ページ／3,600円＋税

都市計画における物流ネットワークや都市施設の整備は、歴史的に重要なテーマの一つだった。しかし、戦後数十年間は戦災復興や産業振興、住宅地開発等に終始したこともあって、現在の都市計画は物流とは縁遠くなってしまったように感じられる。とはいえ、物流はどの時代にあっても都市生活の維持に不可欠であることに変わりはないし、さらに近い将来にはそのあり方が大きく変化していく可能性もある。情報化が進めば通勤交通は減る。ネット通販が普及すれば買い物交通は減り、代わりに宅配が増える。都市生活の利便性が向上するほど人の交通は減少し、物の交通が増加していくのである。高まる物流需要を満たして都市の日常生活を支えるためには、都市計画に物流の観点を盛り込み、こうした社会文化に適應させなければならない。このような問題意識のもと、一般財団法人計量計画研究所 (IBS: The Institute of Behavioral Sciences) では「物流からみた計

画論」の研究に着手している。本書は、その研究成果を書籍にまとめたものであり、東京を対象として歴史的な変遷から都市と物流の関係を見つめ直す内容となっている。

目次：都市と物流の考え方／都市の市街地と物流／都市の新たな課題と物流 原□

『戦後大阪の鉄道とターミナル小売事業』

谷内正往著／五紘舎発行／2020年2月／四六判／220ページ／1,800円＋税

本書は、商業史の研究者 (大阪商業大学准教授) が、主に戦前・戦後の大阪の鉄道と商業施設の関わりについて、事例紹介と分析を行ったものである。まず、大阪で鉄道がどのような経緯で主要な交通機関となったのかを説明している。次に、南海電気鉄道の経営の動向を、他社と比較しながら歴史的に考察し、「南海百貨店」がない理由を明らかにするとともに、同社の鉄道高架下事業の目的についても分析している。さらに、阪神電気鉄道の小売事業参入の経緯を考察し、阪神デパ地下の源流を探っている。このほか、大阪万博のために鉄道新線がどのように敷設されたか、周辺の小売事業の動向をふまえて考察するとともに、大阪で生まれた一業種一店を前提に専門店が共同販売する「専門大店方式」を採用して創立された京都駅観光デパートについても年代別に分析を行っている。

目次：大阪の交通史 — 戦前・市電から戦後・地下鉄へ／大阪になぜ「南海百貨店」がないのか／商業施設から見た鉄道高架下 — 南海電気鉄道を中心として／阪神デパ地下の源流／鉄道と商業 — 70年大阪万博を中心として／京都駅観光デパートの創立 古森□

新着情報 (2020年4・5月分)

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和書>

- 1 少子高齢社会における夜の生活活動を支える都市と交通のあり方に関する研究 (日交研シリーズ A-767) 大森宣暁, 菅野健, Shirendev Oyun-Erdene 日本交通政策研究会 2020年3月

- 2 交通流理論——流れの時空間変化をひも解く
桑原雅夫 交通工学研究会, 丸善出版 (発売)
2020年3月
- 3 ゼロエミッションを考慮した長期的な交通政策
に関する研究 (日交研シリーズ A-766) 室町泰徳
日本交通政策研究会 2020年2月
- 4 交通インフラの運営と地域政策 西藤真一 成
山堂書店 2020年3月
- 5 地図とデータで読み解くメコン物流事情 石田
正美, 梅崎創編, ほか 文眞堂 2020年3月
- 6 物流と都市地域計画——ロジスティクスが創る
新たな社会 苦瀬博仁, 鈴木奏到監修, IBS「都市
と物流」研究会編 大成出版社 2020年4月
- 7 消費者向け小口貨物輸送における「ラストマイル」
の多様化に関する研究 (日交研シリーズ A-762)
林克彦, 齊藤実, 宮武宏輔, 畢叶露 日本交通
政策研究会 2020年12月
- 8 観光の実態と志向 令和元年度版 日本観光振興
協会編 同法人 2020年3月
- 9 観光に関する競争政策の実証的研究 (日交研シ
リズ A-772) 黒田達朗 日本交通政策研究会
2020年2月
- 10 自動車輸送統計年報 平成30年度分——第56巻
13号 国土交通省総合政策局編 同省 2020
年8月
- 11 鉄道輸送統計年報 No.32 平成30年度分 国土
交通省総合政策局編 同省 2020年11月
- 12 きっぷのルールハンドブック [増補改訂版] 土
屋武之 実業之日本社 2020年4月
- 13 戦後大阪の鉄道とターミナル小売事業 谷内正
往 五紘舎 2020年2月
- 14 明治日本と鉄道——近代的鉄道政策の形成 小
谷正典 晃洋書房 2020年3月
- 15 イギリス鉄道業の生成と発展——事業構造の変
化と鉄道政策 富田新 日本経済評論社
2020年3月
- 16 ハイヤー・タクシー年鑑2020 全国ハイヤー・
タクシー連合会監修, ハイタク問題研究会編
東京交通新聞社 2020年4月
- 17 航空輸送統計年報 平成30年 国土交通省総合
政策局編 同省 2020年6月
- 18 航空機と空港の役割——航空機の発展とともに
進歩する空港 唯野邦男 成山堂書店 2020
年3月

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『日英米独仏露華対訳鉄道辞典』

運輸調査局編 / 日本国有鉄道発行 / 1952年

日本国有鉄道が鉄道開業80年を記念して刊行した対訳辞典である。本書の構想は第二次世界大戦中の『鉄道大辞典』からはじまるが、規模が大きいため、一部を利用した対訳辞典が先行した。編纂には、戦後新設された交通経済研究所の前身である運輸調査局があたった。

辞典編纂にさいして参考にしたのは、ドイツの Schloemann-Oldenbourg: Illustrierte Technische Wörterbücher (『シュローマン・オルデンブール: 図解技術辞典』, 1905~1920年) である。本書は、鉄道に関する技術のみならず、事務などについても取り上げている。また、『鉄道辞典』ではあるが、交通一般、道路、自動車、海運などの鉄道事業にかかわり深い分野の用語も含んでいる。2部構成で、第1部は、日本語を主体として、これに7言語対訳と用語解説を行っている。第2部は、英・米・独・仏の4言語による表記と、これらに対応する日本語を記載している。 土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室
住 所: 東京都台東区上野7-1-1
郵便番号: 110-0005
電話番号: 03-3841-4165
ファックス: 03-3841-4859
URL: <https://www.itej.or.jp/>
最寄駅: JR/東京メトロ 上野駅から徒歩3分

【お願い】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各種対応を行っています。来室のさいには、マスク着用および手指消毒にご協力をお願いします。

担当: 土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳